

総務委員会

令和5年3月14日（火）

午後2時38分～午後4時10分

議会第1会議室

【出席委員】宮崎 健委員長、富永明美副委員長、藤田佳典委員、中村宏志委員、
重松 徹委員、堤 正之委員、江頭弘美委員、黒田利人委員

【欠席委員】白倉和子委員

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・議会事務局 倉持議会事務局副局長兼総務課長
- ・出納室 森出納室長
- ・監査事務局 福岡監査事務局長
- ・公平委員会 福岡公平委員会事務局長
- ・選挙管理委員会事務局 小峰選挙管理委員会事務局長
ほか、関係職員

【案件】

- ・付託議案について

○宮崎委員長

それでは、定刻より少し早いですが、ただいまから総務委員会を開催いたします。

なお、白倉委員が欠席ということで連絡が入っておりますので、報告いたします。

それでは最初に、4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りいたします。

第1号議案 令和5年度佐賀市一般会計予算中第1条第1表、歳入全款及び第4条第4表、地方債の審査につきましては、ほかの常任委員会の付託議案とも関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、4常任委員会による連合審査会を開催して審査したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、第1号議案の歳入関係部分の審査については、4常任委員会による連合審査会を開催することに決定しました。

次に、審査日程についてでございますが、先ほど決定しました連合審査会を含めまして、お手元のタブレット端末に掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。

また、付託議案に関連して現地視察を希望される場合は、マイクロバス等の都合がございますので、早めにお申出ください。

なお、現地視察につきましては、資料や執行部の説明、答弁などで疑義が明らかにならず、現地を見なければ賛否の判断ができない場合などに行うことに御留意ください。

それから、連合審査会時の席次につきましては配付しております席次表のとおりですので、よろしくお願ひいたします。

連合審査会后、委員会を再開して引き続き付託議案の審査を行いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、ここで一旦、総務委員会は休憩いたします。

連合審査会に切り替わりますので、大会議室へ移動をお願いいたします。

◎午後2時39分～午後3時48分 休憩

○宮崎委員長

それでは、総務委員会を再開いたします。

白倉委員が欠席されていますので、再度報告させていただきます。

それでは、議会事務局、出納室、監査事務局、公平委員会、選挙管理委員会事務局についてです。

審査日程に基づき、付託議案の審査に入りますが、審査に入る前に注意していただきたい点を幾つか申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。

特に当初予算は非常にボリュームが大きいので、経常的な経費については主なもの、前年度と比較して大きく変わったものを中心に説明をお願いいたします。また、答弁は、役職にかかわらず、質問に対して回答できる方が速やかに答弁されるようお願いいたします。

それから、委員の皆様におかれましては多岐にわたる質疑をお持ちだと思いますが、一度にたくさんの質疑をされますと答弁が分かりにくくなります。質疑の資料番号、ページ数を示した上で、1回につき2問ぐらいに絞って質疑していただければと思います。

それでは、議会事務局、出納室、監査事務局、公平委員会、選挙管理委員会事務局に関する議案の審査に入ります。

まず、第34号議案について、執行部に説明を求めます。

◎第34号議案 佐賀市議会議員及び佐賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 説明

○宮崎委員長

それでは、ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質疑をお受けいたします。御質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○江頭委員

考え方、予算書183ページの選挙管理の選挙啓発経費なんて、こういうのは経常経費と一緒になんですよね。

今回、県議会議員選挙が4月に行われますので、選挙管理委員会としては非常に大変だろうとは思いますが、その後、国政選挙もなければ市議選ももちろんないし、そ

ういう時代に、これだけ投票率が下がるときにね、もうちょっと選挙管理委員会はどういう啓発——県議選が終わればあとは事務処理ですので、こういうときに、何でこれだけ投票率が下がっているかという部分の調査というのは委託してもいいから、こういうところに予算をつけて、本当にどういうところが原因なんだということを、やっぱりきちっとやるべきですよ、私はそう思います。そこでこういう予算をつけるべきだと思うんですけど、その辺は財政課とかといろんな交渉あるんでしょうけどね。

実際、今度の県議選はどのぐらいの予想か分からないんですけど、多分、次のときは5割切るでしょう、佐賀市の市議会議員選挙でも五十二、三%ですよ。こういう状況の中であるんだったら、今この時期に委託会社に頼んで、どこが原因なのかということをしちっとやる予算をやっぱりつけていくべきだと思うんですけど、その点は財政課とも交渉されているのかどうかですね。

○小峰選挙管理委員会事務局長

財政課とも実は協議いたしておりますが、最終的には現在の予算となっているところはございます。ただ、予算はございませんが、まず我々が力を入れようと思っておりますのは、若年層を含めた啓発、主権者教育にまず力を入れるということにしております。

それと、職員が申しておりますのは、選挙のない期間に他自治体の選挙の状況であったり、やり方であったり、参考となる事例がないかということ調査するようにということ、今のところ予算の範囲内ではございますが、調査をするように、職員目で見えて感じて、それを実践に生かしたいというふうに今のところは考えておるところでございます。

○江頭委員

職員体制を見ても、やはり人数にも限りがあると私は思うんですよ。ですから、こういうところは専門的な調査会社もあるんだし、やっぱりこういうところに金を使っていくべきだと思うんです。特に、今いろんなことを言われています、何でこれだけ若者の投票率が下がっているのかという。全国的な問題だけど、佐賀市は佐賀市のいろんな要素、どうして下がっているかというところがあるでしょうから、実際、選挙管理委員会の人数、僕は職員だけでは無理だと思うんですよ。徹底したそういう専門的な調査というのを踏むべきだと思いますので、その点は要望というか、局長、考えておいていただきたいと思うんですけど。

○宮崎委員長

答弁ありますか。

○小峰選挙管理委員会事務局長

ありがとうございます。貴重な御意見をいただきましたので、財政当局とも協議しながら、よりよい方策を考えてまいりたいと思っております。

○宮崎委員長

ほかにありませんか。

○重松委員

関連ですけど、これは一般質問やったかな、どこか高校でしたね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それで、ほかの高校でもやってくれんかとか、投票をね。7割やとか、70%と。やっぱりやれば増えていくんだから、そういうところに予算つけてやっていくべきだと思います。

○小峰選挙管理委員会事務局長

ありがとうございます。高校につきましては、18歳年齢に到達している月によって、設置が可能な、多分4月とかは有権者がいない状況です。そういう状況もありますので、学校の協力体制、それから選挙の実施時期を勘案しながら、できる限りやる方向で考えたいというふうに思っております。以上でございます。

○宮崎委員長

ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに質疑はないようですので、ここで、退職されます小峰隆一選挙管理委員会事務局長から御挨拶をいただきたいと思います。

◎小峰選挙管理委員会事務局長挨拶

○宮崎委員長

ありがとうございました。

それでは、執行部の職員の方は退室されて結構です。

◎執行部退室

それでは、本日の審査に関して現地視察の希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、以上で本日の総務委員会を終了します。お疲れさまでした。

次回の委員会は明日、15日午前10時からです。